

# ご存知でしたか？

## 冬場の電気代が高くなる最大の原因。

聞いてびっくり！



冬場の水道凍結防止ヒーターは、  
エアコンを24時間つけっぱなしにしているのと同じ!?

水道凍結防止ヒーターは一般的なもので1mあたり約13Wの電気を消費します。寒冷地では、この水道凍結防止ヒーターを水道管に対して1.5倍の長さのものを巻き付けるのが一般的です。仮に水道管の長さが2mだとすると水道凍結防止ヒーターは3mになり、この消費電力は13W×3m=39Wということになります。

これだけ見ると大したことがないように思われますが、各家庭には平均で10本前後【※1】の水道凍結防止ヒーターが使われています。従って、ご家庭で使われている水道凍結防止ヒーターが10本だとした場合、その消費電力は、39W×10本=390Wということになります。

しかも一般的な水道凍結防止ヒーター【※2】は、1年のうち6カ月間(11~4月)は1日24時間、常に通電状態となっています【※3】。エアコンの消費電力が約400Wと言われていいますので、言い換えればご家庭で使われている水道凍結防止ヒーターは、エアコンを6カ月間毎日1日中つけっぱなしにしているのと同じかそれ以上の電気を消費しています。これを電気代に換算すると、ワンシーズンで45,450円も電気代がかかっています【※4】。

しかしこの水道凍結防止ヒーターは、保温材に覆われていて普段目にするのがほとんどなく、ご家庭によっては水道管が床下に配管されていたりするため、外から見るだけではわからない場合もあります。



**もし、冬の電気代が高くてお困りの場合は、水道凍結防止ヒーターがご家庭にどのくらい使われているか、ぜひ一度調べてみてください！**



床下



トイレ室内配管



台所や洗面所の室内配管

水道凍結防止ヒーターはこんなところにも使われているよ



- ※1 台所(給水・給湯)2本、洗面所(給水・給湯)2本、風呂場(給水・給湯)2本、トイレ(給水)1本、洗濯機(給水)1本、給湯器(給水・給湯)2本、他にも室内配管(台所や洗面所、トイレの室内配管)にも使われている可能性があります。
- ※2 サーモスタット動作温度は6±3℃でON。16±3℃でOFF。(サーモスタット外付けタイプ)
- ※3 長野県諏訪測候所の過去30年間(1981~2010年)の気温統計データに基づいて算出。
- ※4 中部電力3段料金1kwhあたり22.52円で試算。

お問合せはフリーダイヤル

0120-012743



水道凍結防止ヒーター用節電器

NEW セーブ90